

## 宣言 (昭和31年協和会「昭和革新論」より)

- 1、人類歴史は最終戦争時代に突入し、世界の統一は眼前に迫った。われらは最小の犠牲をもって、新しい歴史を開こう。
- 2、都市解体、農工一体、簡素生活、この三原則によって新日本を建設し、搾取と戦争のない、人類次代文化の先駆となろう。
- 3、東亜に対する過去の態度を深く懺悔し、まず近隣と道義によって固く結び、ひいて永久平和の実現に邁進しよう。

## 目次

巻頭言	1
グローバルズムからの 世界の右傾化について	1
西大條浩一	
◆三笠宮崇仁親王への御進講	2
野村乙二朗	
●石原莞爾の「戦後」を歩く	4
●昭和天皇の御製⑮ 岩崎章次	
●会員便り	6
●運営委員会中止のお知らせ 総会案内	
●コラム	8

## グローバルズムからの 世界の右傾化について



本会監査役 西大條浩一

新年度となりました。会員の皆様におかれましてはますますご健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、このところの世の中の動きを見てみると、自国第一主義、右傾化といった言葉を目にした耳にしたりすることが多いのではないかと思います。欧州では各国でポピュリストが支持されて極右政党が台頭し、米国はといえばよもやのトランプ政権誕生で宣言通りに保護政策、排他主義が推し進められようとしています。アメリカファーストと叫んで終いには鎖国宣言でも飛び出しそうな勢いです。

転じて国内に目を向けると、安倍首相が美しい国を目指し、道徳を正式科目にしたり中学校の武道に柔剣道を追加したりと戦前回帰とも取れる右翼傾向を強めています。森友学園問題に国中が釘付けになっていますが、安倍首相が関連付けられてから騒ぎが大きくなりました。森友学園は園児に教育勅語を誦んじさせるといって教育が改めて物議を醸し出しましたが、教育方針はかの日本会議に重なる部分が多いと言われます。おそらく安倍首相はこの志を同じにする教育方針に共鳴して関係性を持つに至ったのだろうと推測されます。

森友学園問題で付度という言葉がキーワードになりました。付度とはいかにも日本的な概念ですがやや古く、外国人や日本でも若い人には理解が難しいようです。かつての日本は生涯雇用で組織の人間関係が熟成する土壌があり、い

ちい細かな説明をしなくとも上の者を下の者が慮って首尾よく物事を進めていける社会構造が実現していました。辞書を引けば、付度とは単に相手の心中やその考えなどを推し量ることと出ていて別に悪い意味には取られないのですが、今回の件で付度という言葉には悪いイメージがついてしまいました。極端に言えば悪代官に便宜を図る悪徳商人のようなイメージです。ブラック企業は若者に自分の為に頑張れと言ってサービスマンを強要したり、若い内は金より経験と言って労働に見合った報酬を与えなかつたりしますが、今はブラック社員と言われる中間管理層がこれをやります。中間管理層が経営者を「付度」するわけで正に悪代官と悪徳商人の構図です。私利私欲を強欲に求めた挙げ句これぞ勝ち組と言わんばかりに堂々と論をぶつ悪徳経営者の何と多いことか。利他の心の欠片もありません。

グローバル化するネオリベが行き過ぎた歪みからこのような価値観・道徳観の崩れが起きてきたと見ていますが、それ故の格差の拡大は当然で、置いて行かれた者が段々と内側を向き、右寄りな思考に傾きやすい状況になっているのだらうと思います。海外でも、グローバルゼーションから移民など様々な問題が噴出し、国民感情が動いています。イギリス人が選んだ回答はEU離脱、アメリカ人が選んだ回答はアメリカファーストです。このナショナリズムへの流れは、グローバルゼーションでバラバラになつてしまった国が今こそ一つにまとまるべきという大勢の考えだと思えますが、ナショナリズムが進むと国際協調は遠のきます。ショービニズムを標榜する大国と新興国が同時に出現し始めている現在の国際情勢は、世界の平和を脅かす大変危険な状況であると思えます。

昭和34年6月10日宮城県仙台市生まれ。高卒後美容師を志すが、シャンプーのかぶれに心折られ、北大進学を目指す途中にバイト先の社長に見込まれてサラリーマンの道へ。以来一貫して信用調査会社に勤務し、営業職に従事する。一方的な自虐史観や中国・朝鮮半島の強烈な反日感情に胡散臭さを感じていたところに仲條会長と御縁を戴き、当会に参加。酒を飲んで一人でくたを巻いている市井の人。



## コラム

東日本大震災から6年以上が経過した今でも、福島では多くの人たちが避難生活を続けており、行方不明者はいまなお2500人を超えています。日本各地で今後、自然現象である火山や地震などの災害が起こる可能性を考えると、多くの人々が不安な気持ちになることでしょう。

地震も火山噴火もはつきりした予測はできないので原発再稼働などありえないことだと思いのですが、政府は根拠もなく大丈夫だと言い張り、過去の惨事を何事もなかったかのように多くの原発で粛々と再稼働の準備を進めています。

川内原発の審査では火山の専門家から意見を聴取されておらず、火山学者の多くは、科学的に数十年の間に噴火しないとは言えない、と疑義を呈しています。九電側はカルデラ噴火が6万年間隔だとしています。これはただ平均を出しただけで、火山学的はまったく根拠がないとも指摘されています。

しかしそれを「人災」である原発災害にしてしまうかどうかを選択するのは我々です。火山が噴火しているさなかに、さらに原発が重大事故を起こしているならば、際限の無い放射能災害を複合させる惨事になるでしょう。

さまざまな面において福島原発事故の教訓がいかにされています。なぜそこまでして再稼働に踏み切るのでしょうか。

時が経つにつれ、あの時の思いや記憶は薄れるかもしれませんが。風化しないよう思い起こすことは大切だと思っています。

現在も復旧作業にご尽力なさっている方々のご無事と、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

仲條 (江)

第一次世界大戦はたった一つの暗殺テロから始まった。第二次大戦もヒトラーの「ポーランドに侵攻しても英仏は宣戦布告しない」との読み誤りからだ。その意味で二つの大戦は「誰も望んでいなかった」と言えよう。

今、朝鮮半島を巡る情勢は、1953年から続いている休戦状態が破られそうな危機下にある。このコラムが届く4月25日前後で何か大きな動きが生じているかもしれない。

北朝鮮が核開発に奔走した動機は、核開発を断念したりビアのカダフィーや大量破壊兵器を保有してはなかったイラクのフセインが辿った運命の再来を恐れたからだ。一方のアメリカは、「功を奏さなかった」懐柔策から、一転して断首作戦のリークと言った対北朝鮮強硬策に転じた。

そんなチキンレースを繰り返す中、核実験や弾道ミサイルの開発にある程度成功した北朝鮮は、米本土の核攻撃をチラつかしたことで、逆にアメリカを「本気」にさせてしまった感がある。

クロマニヨン人に代表される我々現生人類は二十万年前にこの地球に誕生した。鋭利な細石器を先端に付けた投槍や弓矢の飛び道具を発明したことで、如何なる大型肉食獣よりも強く、またトラやライオンでさえ無理なゾウやサイといった大型草食動物の成獣も容易に狩れるようになった。やがて、文字を発案したことで、知識の蓄積と正確さが、言葉だけによる伝達や伝承と比べ桁違いに向上し、文明や国家を形成するに至った。

そんな文明や国家は、その勢力拡大や防衛の必要上から製鉄や火薬の発明を促し、その技術を用いた武器は近代兵器にまで発展していった。鉄砲は多くの大型野生動物を絶滅やその寸前に追いやってきたが、近代兵器はそんな人類を滅ぼしかねない。人間は知識や知能はそれなりに高い

かもしれないが、同時に聡明さを著しく欠いた動物だと思ってしまう。

当初、森友学園問題から垣間見える日本の官僚制度について言及するつもりだった。紙幅の関係で多くを語れないが、①日本の支配者はキャリヤ組に代表される各省の高級官僚たちであり、実質的に彼らが国政を牛耳っている、②彼らの「省益あつて国益無し」と共同無責任主義の「村意識」は、戦前、陸大や海大出身の高級軍人たちが国策を誤ってしまった体質と実質的に何ら変わらないことを指摘したい。

補助金詐欺を企てた大阪のオッチャンによる「おもしろい」バラエティー番組だけでは済まされない問題だと思ふのだが…。(山崎)

会の運営上、やむなく今号より従来の12頁から8頁にさせていただきます。詳細は7月25日発行の141号でご報告致します。

### ★発行所 石原莞爾平和思想研究会

〒179-0076 東京都練馬区土支田3-46-7

山崎行政書士事務所内

TEL (FAX 兼用) 03-3925-2353 (山崎)

郵便振替 00130-9-410942

発行人 仲條拓躬

編集人 「永久平和」編集委員会

定価 200円 (送料別)

会費 (年間) 篤志会員 10000円以上

一般会員 5000円、誌友会員 4000円

第140号 平成29年(2017年)4月25日発行